

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3175回例会(平成29年9月13日・水)

今週のプログラム

9月13日(水) ゲストスピーチ

「ガバナーのお話」

第2690地区ガバナー いけがみ ただし 池上 正氏

次週のプログラム

9月20日(水) 会員スピーチ

「お金の一生と日本銀行」

日本銀行松江支店長 おおやましんすけ 大山慎介氏

例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
9月19日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
9月21日(木)	松江 東	ホテル一畑
9月22日(金)	出雲 南	出雲ロイヤルホテル内事務局
9月25日(月)	米子 南	米子全日空ホテル
9月27日(水)	米子 東	米子全日空ホテル
10月2日(月)	米子 南	米子全日空ホテル
10月10日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
10月17日(火)	境 港	Asian Resort Dining 嗣國
10月31日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく

2017年(平成29年)9月~10月の予定

9月13日(水) 池上正ガバナー公式訪問例会(A方式)
12:30~13:30

10月4日(水) 定例理事会

10月18日(水) 職場訪問例会

島根原子力発電所3号機視察

10月21日(土)~22日(日) 地区大会

22日(日) 本会議 10:00~ 倉敷市民会館

記念講演

徳川宗家19代目当主

翻訳家、政治・経済評論家

徳川家広氏

「関ヶ原から読み解く日本近代史

~中国地方の徳川400年~」

懇親会 17:00~ 倉敷アイビスクエア

交通手段 松江4クラブ合同貸切バス

結婚月

尾崎 俊也会員 1日 原 守中会員 3日

堀井 輝彦会員 19日



本日のエレクトーン 松本悦子さん

第3174回例会記録

平成29年9月6日(水・曇り時々雨)

会員数 69名
出席者数 50名
欠席者数 19名
出席率 76.92%(出席免除会員含む)
前々回補正 88.71%(出席免除会員含む)

ビジター なし

メーカーキャップ 竹岡、永通(松江南)
井上、加島、錦織、波多野、古瀬、舟越(松江東)

会務報告

伊原会長

ゲストスピーカー紹介

山陰ケーブルビジョン(株) アナウンサー おおにしともこ 大西友子様

8月23日ガバナー補佐クラブ協議会

8月29日松江4クラブ合同例会報告

森岡幹事

ガバナー月信、職場訪問例会のご案内、高専祭バザー協力をお願い配付。

平成29年1月~6月までに頂きました財団寄付の確定申告用の寄付金領収証をボックスに入れています。

確定申告の際、必要となりますので保管をお願いします。

再発行はできません。

次週9月13日(水)池上正ガバナー、随員として柳楽克人地区庶務幹事をお迎えしガバナー公式訪問例会を開催致します。

時間は通常例会と同じです。

服装はクールビズでとの連絡を頂いております。

地区大会追加登録は9月8日(金)まで。

ロータリーレート変更のお知らせ

9月1日より1ドル109円(現行111円)

本日例会終了後、定例理事会開催。

委員会報告

クラブ管理運営 親睦・出席委員会 川内会員

出席報告

職業奉仕委員会

妹尾委員長

職場訪問例会のご案内

10月18日(水)島根原子力発電所3号機視察

是非ご参加ください。

青少年奉仕委員会 佐藤委員長
高専祭バザー協力をお願い
9月27日(水)、10月4日(水)例会場または
事務局へ持参頂けると喜びます。

スピーチ

「出雲国風土記を巡り歩いて」

山陰ケーブルビジョン(株)アナウンサー おおにしともこ
大西友子氏



谷口正(大西友子様 いつもお世話になっております。本日のスピーチを楽しみます。)

堀江(山陰ケーブルビジョン 大西友子さんをお迎えして。)

勝部治(9月3日に三男に初めての子供が産まれたと連絡がありましたが熱が39度と呼吸に問題ありとのことで大変心配しましたが昨日、良くなったとのメールが入り安心しました。元気で大きく育ってほしいです。大西さんのスピーチに期待します。)

錦織(本日の大西さんのスピーチ楽しみにしております。先々週土曜日8/26に新店舗ダイレックス松江店青果部がオープンしました。伊原会長の日新化成さんはじめ沢山の皆さんのおかげと感謝しております。今後ともよろしくお祈りします。)

原(申し訳ありませんが早退いたします。)

福田(所用のためゲストスピーカーの大西友子様のお話が聞けず残念です。)

加島(出席100%賞にお茶をお使い頂きありがとうございます。)

大山、小村、堀江、榎井、大野、紀野、蔡、堀井、古瀬(誕生月)

後藤(入会月)

ベストメッセージ賞：勝部治政会員

司会 原田会場監督

ニコニコ箱

41,000 円

伊原、今井、森岡(ゲストスピーカー大西友子さんのスピーチに期待して。)

谷口博(大西友子さんと藤岡大拙先生の「出雲風土記をめぐる」番組はお二人の思い入れのこもった長寿番組でした。よく完結されました。)

ひとこと 随想

「うらうらとゆく島根半島四十二浦を巡る旅」



はら だ みつ おき
原 田 光 明

弊社、山陰ケーブルビジョン株式会社 マーブルの番組「うらうらとゆく島根半島四十二浦を巡る旅」は、平成27年10月から放送を開始し、毎月1本のペースで全51回(4年間)放送予定です。現在23回の放送が完了し、すでに折り返しの域に入ってきました。

そもそも四十二浦とは・・・、山陰海岸に突き出た島根半島は東西約65km。標高200m~500mの山々からなる北山山系の山裾が日本海へと下り、入り組んだ海岸線の入江には漁業・海運を生業とした風光明媚な浦々が点在しています。西に大国主を祀る出雲大社、東に恵比寿さんを祀る美保関



神社があります。その島根半島に、四十二浦巡りと呼ばれる浦々の氏神を巡拝し、海水で潮垢離(しおこり)をし、あるいは竹筒に潮水を少量ずつ汲み、最後にその潮水を一畑薬師などの神仏に奉納するものです。江戸時代には多くの巡礼者が出雲大社から、または逆の美保関の福浦から島根半島を1~2週間かけて巡ったといわれています。この信仰習俗の起源は諸説ありますが、宝永七年(1710)に雲津(40番)に諏訪神社に奉納された四十二浦を一つ一つ和歌に詠った「雲州四十二浦之詠歌」には、古事記、日本書記の国生み神話に登場するイザナギノミコトとイザナミノミコトの黄泉国神話にちなんで始まったとあります。

この島根半島に伝わる四十二浦巡りは、まだまだベールに包まれた信仰習俗ですが、近年、四十二浦を詠った版木も発見されたことから考察が進んでいます。修験道における異界との境界を彷徨う「辺地巡礼」とする新たな説も登場し、注目を浴びているところです。

番組では、社ガールの女性と島根半島四十二浦巡り再発見研究会の方々が旅人となり、浦の魅力をやったりと紹介します。浦の潮汲みの社と歴史については、関和彦先生に解説していただいています。この番組は1ヵ月間に30回のリピート放送がありますので、ご興味があればご覧ください。(放送事業)

理事会報告

新入会員入会承認の件(上定昭仁様)

地区大会登録についての件

米山奨学生 朱興辰君 留学の件